

第4分科会 ワークショップ
とっとり花回廊
～季節の花の寄せ植え体験と夏の花の散策～

指導者 花回廊副園長兼園芸部長 林原 康子 様

1 季節の花の寄せ植え体験

植材	*キバナコスモス コスミックシリーズ キク科	原産地	メキシコ
	・暑さに強く、夏から秋まで長く咲き続ける。 ・たくさんの花が付き、かぜに揺れる姿は涼しげ ・冬を越すのがむずかしい1年草タイプ		
	*センニチコウ バイカラーローズ ヒユ科	原産地	熱帯アメリカ
	・ピンクと白のコントラストが可愛い ・暑さに強く小花をたくさんつける ・ドライフラワーにも最適 ・冬を越すのがむずかしい1年草タイプ		
	*サルビア サリーファン ブルー シソ科	原産地	北～中央アメリカ
	・夏に嬉しい水色の涼しげな花 ・爽やかな花色は他の花と相性抜群 ・暑さに強く、開花期も長い		
	*カレックス アウバウム カヤツリグサ科	原産地	ニュージーランド
	・ブラウンの細い葉のラインが軽やかな動き ・寄せ植えの名脇役 ・寒さに強い宿根草、やや乾燥を好む		
	*オレガノ マルゲリータ シソ科	原産地	地中海沿岸
	・ライムとゴールドのコントラストが素敵 ・株の形が自然で寄せ植えやハンギングにおすすめ ・高温多湿を嫌うが寒さに強い宿根草		



寄せ植えのポイント

- ・花選びは、似た生育環境の植物を選び、色合いの組み合わせを考える。
ブルー系の花を色と色の繋ぎとして入れると良い。
- ・花の配置は、寄せ植えを一定方向から見る場合には、後ろに丈の高い草花を植える。
寄せ植えを全体から見る場合には、中央に丈の高い草花を植える。
- ・土入れは、株と株の間に空洞ができないよう割り箸などの棒で挿しながらまんべんなく入れる。
(根を傷つけない様に行う。)鉢のふちから2～3 cm低く、ウォータースペースを作る。
- ・時期によって花の苗数を加減する。(夏は少なく、冬は多く。)

2 花壇管理についてのレクチャー

*水やりについて

- ・水やりによって酸素がいきわたるが、水のやりすぎも根が傷む原因となり、枯れることがある。(元気がない時は水をやってみたり、水やりをやめてみたりして、草花の変化を観察していく。)

*病害虫について

- ・どんな虫がいるのか観察をして虫に合った薬を使用する。
- ・薬を撒く場合は、説明書をよく読みマスク・ゴム手袋を使用する。

*除草について

- ・雑草は小さいうちに根から抜き取る。
- ・大きくなると雑草の根が広がり草花の根を傷め栄養分をとられてしまう。



*花がらつみについて

- ・咲き終わった花がらをまめに摘みとる。花がらを放置すると、新しい花がつきにくく、病気やカビの原因にもなる。花びらだけを摘むのではなくこまめに花茎から摘みとる。

*摘心・ピンチについて

- ・摘心によって沢山の花をつける事が出来たり、草丈の調節が出来たりする。

*追肥について

- ・植物を生育させるための栄養分として、窒素・リン酸・カリは肥料の三要素である。

窒素	リン酸	カリ
↓	↓	↓
葉っぱ	実	根

覚え方・・・葉をみて根 (はをみてね!)

- ・開封した肥料袋は、栄養分が逃げてしまわないよう袋の口をきちんと閉めて、ある程度の期間で使いきる。

*土作りについて

- ・腐葉土の作り方。(米ぬか・落ち葉に水を混ぜ、ビニールシートをかぶせる)
- ・くぬぎやこならの葉が腐葉土作りにふさわしい。桜の葉は油があるため腐葉土が完成するまでに時間がかかる。

3 花壇の草花

*花で遊んでみましょう

- ・アサガオ・・・花の風船、葉っぱの鉄砲
- ・オシロイバナ…マニユキア、お化粧
- ・コスモス・・・パラシュート
- ・数珠・・・お手玉

* どう見えます？面白い花たち



パンジー・・・顔に見える？



スピランサス・・・食べられる花
別名「目玉おやじ」



オステオスペルマム・・・スプーンの花びら



タイツリソウ・・・ハートのイヤリング



ラグラスバニーテール・・・ドライ
フラワーにして動物が作れるよ



トレニア・・・口を開けてるよう
に見える？

4 その他

- ・レモンバーム、ユーカリを使って虫除けスプレーを作ることができる。

5 参加者の声(アンケートのまとめ)

- ・分科会では寄せ植えを行い土作りや肥料の事など聞く事が出来、園の環境整備にとっても参考になりました。園に帰り、さっそく行ってみたいと思います。
- ・とても学べた2日間でした。学んだことを園で生かそうと思いました。
- ・花回廊は気分がリフレッシュ出来、とても楽しかったです。
- ・鳥取県の特徴がとても出ていて、とても楽しく参加出来ました。

6 まとめ

- ・第4分科会では、季節の草花の特性を生かした植え方や管理について、実際に寄せ植え体験をして学ぶ事が出来た。これを機に園の花壇管理等を行い、子どもたちが四季折々の草花にふれる環境づくりを考えたい。また、子ども達と水やりや花がら摘みの世話をしながら草花の変化や美しさに心を寄せ、感性を育てていきたい。
- ・花回廊自然観察では、夏の花・食虫植物展・大山の四季(映画鑑賞)に触れて、自然に癒され感動し、不思議さ楽しさを今後の保育の中で活かしていきたい。
- ・草花や生き物について、教えることも大切だが、その場で子どもたちと一緒に観察して不思議さや気づきを共有し探究心を育てていきたい。

